



しののめ

平成26年11月28日発行

「大きな成果と新たな船出」



校長 山内 賢一

日ごとに、秋の深まりを感じようになり紅葉の便りも届けられています。一方で、朝晩は、かなり冷え込んできました。体調を崩したり、カゼをひいたりする人も出てきています。油断することなく、うがいと手洗いを大切にしてください。何よりも規則正しい生活と睡眠が大切です。

十月末には、東中フェスティバルが、大きな成果を修めて終了しました。特に、最後の合唱祭は、文化会館いっばいに最後の一音まで、さわやかな歌声を響かせてくれました。またエンディングセレモニーでは、皆さんの力を結集して作成したモザイクアートが披露されました。その素晴らしい作品の前で、子どもたちには、次のようなお話をしました。「行事というものは、仲間との協力により、自らの心を育てるものであり、成長する場であると思っ



ています。ぜひとも皆さんには、この行事で得たものをこれからの生活に生かしてほしい」と伝えました。オープニングの時に話したとおり、心と心結び合えることができたスクールフェスティバルであったと確信しています。来年は2年生が学校行事の中心になります。3年生の皆さんの成果を、東中学校のよき伝統として、つな

ぎ伝えてほしいと心から願っています。

また、後期の生徒会役員が選出され、新たな一歩を踏み出し、生徒総会において、後期の活動方針が示されました。皆さん一人一人の真摯な思いや行動で学校がよくなること、民

主的な動きを創り上げること、本心に頼もしく感じます。東中学校の舵取りは、新しい執行部の皆さんが中心になりますが、会員である皆さん一人一人の協力がなければ、船はまっすぐ進めず、しっかりと前進はできません。ぜひともしっかり応援し、協力してください。

東雲日記

エンディングセレモニーに参加していた九百名近い生徒・職員から、「ウォー！」という歓声が上がった。モザイクアートが、体育館正面の舞台にお披露目された▼全長約8.5×高さ約3.5メートルの鮮やかなドット(約85万個)からできていることを考えると、傑作といってもいい。また題材が心憎い。みんなが毎日暮らす東中の校舎だ▼こつこつと全校生徒の手で作られた校舎をモチーフとしたモザイク画を見ていると、最近、東中の子どもたちの口から飛び出す「愛される東中に！」という言葉が自然と思ひ浮かべる▼今後は、体育館の東側面に飾られる予定だ。横には、三年前の三送会で披露された飛翔鶴のモザイク画。子どもたちの手で命を吹き込まれた二枚の絵が、来年の創立四十周年記念事業を見守ってくれそうだ。(奈)

このお便りは、生徒のみなさんと保護者の方々に向けて発行しています。



RENMA



NEWS

＜第21回 スクールフェスティバル 合唱祭ダイジェスト 平成26年10月29日(水)＞



＜第21回 スクールフェスティバルエンディングセレモニー モザイクアート＞

な、なんと！作品は、すべて5mm程度のドットからできています。
今後、体育館にてご鑑賞いただけます！



【毎日更新中です！東中ホームページ】

東中の子どもたちの素敵なニュースをタイムリーにお届けする「東中ホームページ」…学校だより「しのめ」とともに、ぜひ、ご覧ください。よろしくお祈いします。



HPアドレス <http://www.owariasahi.jp./higashi-j/> (毎日更新中)

※「尾張旭市立東中学校」で検索クリックすると…HPへジャンプします。

尾張旭市立東中学校 学校だより「しのめ」編集部

〒488-0051 愛知県尾張旭市下井町前の上1602番地

教頭：加藤奈保樹 ☎ 0561(54)6511 FAX 0561(52)2905

